令和2年度第1回川口市廃棄物対策審議会議事録

令和2年度第1回川口市廃棄物対策審議会	
1 開 会	
2 挨 拶	
会長挨拶	
部長挨拶	
議事録署名人選任 渡辺マサ子委員が指名される。	
議題（1）令和元年度ごみ処理実績について	
事務局から、資料に基づき説明。	
委員	<p>ごみ量が増えた要因の説明をいただき、そのうちの人口増についてであるが、増えたごみ量を増えた人口で割ると、2ページの一人一日あたりのごみ排出量の平均値をはるかに上回っているように思える。つまり、転入してきた方々が増やしてしまったごみ量を、もともと住んでいる方々が減らした分で吸収して、平成30年度と令和元年度の一人一日あたりのごみ排出量の平均値が変わらなかったように思えるが、転入者に対して啓発資料の配布や周知を行っているのか。</p> <p>また、ごみ量を減らすには生ごみには水分が8割程度含まれているので、生ごみを別回収してコンポストにして安行等で活用するなど、テストケースを行うといったことは検討することは難しいのか。</p>
事務局	<p>1点目の転入者への啓発であるが、広報かわぐち、環境部広報紙PRESS530で啓発を行っている。また、外国の方に向けては、市民課で必要に応じてパンフレット等を用いて説明を行い、日本語を含め9カ国語のごみの分け方・出し方も作成しているので、言語にあったものを用いて啓発を行っている。</p> <p>2点目の生ごみを別に収集するということについてであるが、経費等の問題もあり、現在のところ実施することは考えていないが、貴重なご意見として賜り、今後研究はさせていただきたい。</p>

委員	2ページの最終処分量の焼却残渣が増えているが要因は何か。また、処理困難物とはどういったものがあるのか。また、新戸塚環境センターでは、焼却残渣が減るのか。
事務局	<p>焼却残渣につきましては、蕨・戸田衛生センターの施設整備に伴う一般ごみの受け入れ、台風第15号・19号に伴う片付けごみ、各家庭から集積所に出されるごみ量の増加に伴い、増えている状況である。</p> <p>処理困難物に関しましては、市で処理ができないスプリングマットレス、サーフボード等を特定の専門業者へ委託しており、市民から出される量が増えている。</p>
事務局	3点目の新戸塚環境センターにおいて、焼却残渣が減るのかという点につきましては、新しい焼却施設を整備するが、飛灰等の灰が出るため、基本的に変わらない。
委員	1ページの災害廃棄物について、市内の2施設で処分はできたのか。あるいは近隣の市町村に処理を協力してもらったのか。今年度も場合によっては大きな災害が起こる可能性もあるため、廃棄物の処理についてどのように考えているか。
事務局	2施設において、通常的生活ごみの受け入れも行いながら、災害廃棄物についても焼却できるものは問題なく焼却処理を行った。今後については、災害の規模にもよるが、収集体制を整えて、市内でできる状況であれば、市内で処理を行い、規模が大きくなれば埼玉県清掃行政研究協議会等に協力をいただきながら、他の市町村にお願いすることも考えられるが、基本的には市内で処理することを考えている。
委員	政府でプラスチックごみとプラスチック製容器包装を統一回収すると発表があった。川口市として統一回収することになった場合に、どのような弊害があると考えられるか。また、プラスチックごみは減少すると考えられるのか。
事務局	新聞で確認をしており、2022年度以降から実施していくとのことであるが、国から正式な情報等はまだなく、今後近隣市町村の状況も含めて注視しながら検討していくことを考えている。
委員	本日は我々にペットボトルが提供されているが、今後会議等で使用することについて考え、できるだけプラスチックの排出を減らしていく方針を中核市として先陣をきって全国に先駆けて、政府の判断を待

	たずに、川口市として独自の検討が必要だと考えると思うので、意見として述べる。
委員	新型コロナウイルスの感染防止対策の関係でペットボトルの使用をすることとなったのか。
事務局	そのとおりである。これまでは、お茶を出させていただいていたが、職員が触れる機会をなるべく減らすため、今回についてはペットボトルを使用させていただいた。今後、市としてプラスチックごみの削減には積極的に取り組んでいくので、ご理解いただきたい。
議題（２）戸塚環境センター施設整備事業について	
事務局から、資料に基づき説明。	
委員	今日のような説明を市民に対しても、随時わかりやすく公表するスケジュールを検討してもらいたい。決まったあとの報告でなく、流れが見えるようしてもらいたい。
事務局	すべてを公表することは難しいが、今後のスケジュール等については、実施方針の中で公表させていただく。
委員	すべて公表してもらいたいわけではなく、可能な範囲でお願いしたい。
委員	処理能力についてであるが、朝日環境センターで処理できないものが新戸塚環境センターで処理ができたりすることもあるのか。
事務局	資料３ページの参考資料をご覧いただきたい。戸塚環境センターの西棟が現在稼働している焼却施設で、平成２年もしくは平成６年から稼働している。その後、平成２２年度から２４年度にかけて大規模な改修工事を行い、１５年の延命化を図った。令和１０年頃には次のステップの改修が必要となるが、その西棟の代わりとなる焼却施設として、新東棟の整備を予定している。朝日環境センターも参考として載せているが、施設の規模としては、第７次川口市一般廃棄物処理基本計画も踏まえて算定し、２８５トン／日としている。また、処理内容については、同じである。
議題（３）その他	
事務局から、今後の本審議会のスケジュールについて説明。	

委員	先進都市の視察の件で、事前に武蔵野クリーンセンターの参考資料を配布してもらいたい。
事務局	第2回審議会の際に委員に配布できるようパンフレット等を手配させていただく。また、事前質問を承ることができるので、その際に質問についてもお伺いしたいと考えている。
委員	<p>ごみの量が増えたという議論の中で、災害廃棄物の話がでていたが、昨年の台風第19号でも数万トン規模の被害が出ている。川口市の333トンもかなり多いと感じるが、東松山市方面では市町村の年間のごみ排出量を超える災害廃棄物が発生した。</p> <p>事務局からも話があった埼玉県清掃行政研究協議会では、いざというときに一つの市だけでは処理が難しいため、ダメージを受けていない市町村がダメージを受けた市町村のごみの処理を受け入れる協力体制ができています。民間の産業廃棄物処理業者に処理を委託するなど教訓として出ている。市民の立場で大事なものは、適切な分別である。平時の生活ごみでも分別は大事であるが、災害時でも分別をしっかりとすることが円滑に処理するためには必要である。埼玉県としては調整役をしっかりと担っていきたいと考えている。</p> <p>新型コロナウイルスについても、県で3月、4月のごみの排出量について調査したところ、1割～2割は家庭系ごみが増えていた。しかし、経済活動の自粛によって、事業系については減っており、相殺するとほぼ増減なしかと思うが、自粛活動の中で粗大ごみの受け入れ態勢は大変だったと認識している。処理も大変であり、職員の感染への配慮についても大変だったと思うので、感謝している。</p>
委員	非常時の廃棄物の分別についてであるが、なかなか市民に急に分別を求めても難しい状況だと思うので、今から町会単位にでも知らせてほしいと考える。
事務局	今年度新たに災害廃棄物の処理についてのパンフレットを10月頃までに町会の加入世帯に配布することを予定しているので、参考にさせていただきたい。
委員	コロナ禍で買い物の頻度が減り、残り物を使ったりすることで家庭内の食品ロスが減り、一方調理する機会が増えたため、生ごみが増えたという傾向がイギリス、イタリア、オーストラリアで見られているが、日本では広範囲での調査のデータをまとめているものが見当たらず

	ず、埼玉県として何かデータがあるか。
委員	データは持ち合わせていないが、何かの形でつかめたらと考える。今後、新しい生活スタイルになっていくので、ごみ処理のスタイルについても考えていく必要があると考える。今後、情報提供できることがあれば提供させていただく。
委員	第7次川口市一般廃棄物処理基本計画についてだが、SDGsのターゲットの項目も盛り込んでいただき、とても良くまとめていただいて感謝している。地球温暖化防止活動推進センターでもとても勉強になっている。
委員	西川口に居住しているが、とても不法投棄が多い。昨年末の12月31日に中国人がごみステーションに不法投棄を行った。元日から苦情を受け、市役所は休日、一個人から注意することもできない。6月にはトルコ人が100kgの量を不法投棄して捕まった。なぜ警察が介入する案件と介入しない案件があるのかがよくわからないので、教えていただきたい。
事務局	警察が判断していることで、市としてお答えすることは難しいが、正月等に不法投棄されたという案件があれば、すぐ動けるか確約はできないが、市へ緊急連絡をいただくような対応をしていただくのもよろしいかと考える。
議長	会長という立場でなく、町会の総務部長の立場の経験からお話するが、警察はごみステーションに捨ててあるものは、不法投棄事件として取り扱いにくいとのこと。捨てる日にちや捨てるものを間違えたと言われるとどうしようもない。kgの件はごみステーションではない場所であったため、不法投棄事件として取り扱った。ごみステーションをなくして、道路になると事件として扱えると川口市警察署に聞いたことがあるが、ごみステーションをなくすと不便になるため、町内会でごみステーションのあり方をよく考え、防犯カメラの設置等の検討などしてもよろしいのではないかと考える。
委員	ごみの不法投棄は罰則を伴うと思うので、場所だけで不法投棄かわかりにくいというのはどうかと考える。取り締まりを行う権限を持っているセクションがあると思うので、わかりにくくてもしっかり対応はしてもらいたいと考える。 また、新型コロナウイルスの関係で、医療従事者は大変ご苦労され

	<p>ていると思うが、廃棄物の関係者についても対応について大変苦勞されていると思う。委員としてではなく、市民として心から感謝申し上げたい。注意して対応していただきたい。</p>
議長	<p>みなさまから貴重な意見を賜りましてありがとうございました。それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。以上をもちまして令和2年度第1回川口市廃棄物対策審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>
閉会 (15 : 15)	